

フィッシング対策協議会

月次報告書（2006年12月分）

フィッシング情報届出状況

2007年1月20日

目次

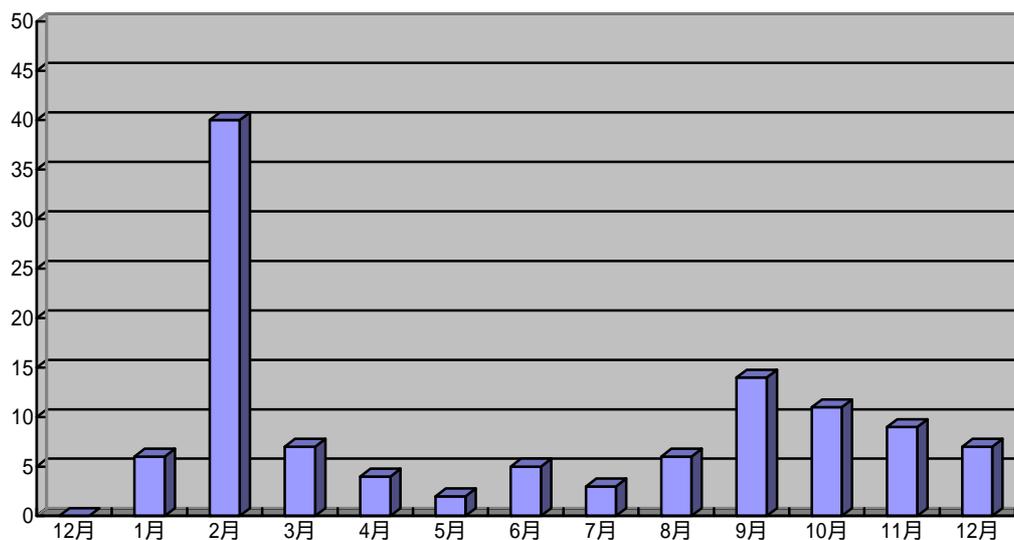
1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国	6
1.4.	フィッシングメールの動向	6
1.5.	フィッシングサイトの動向	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	7
1.7.	その他の動向	7
1.8.	総括	7

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

- フィッシング情報の届出件数： 7件

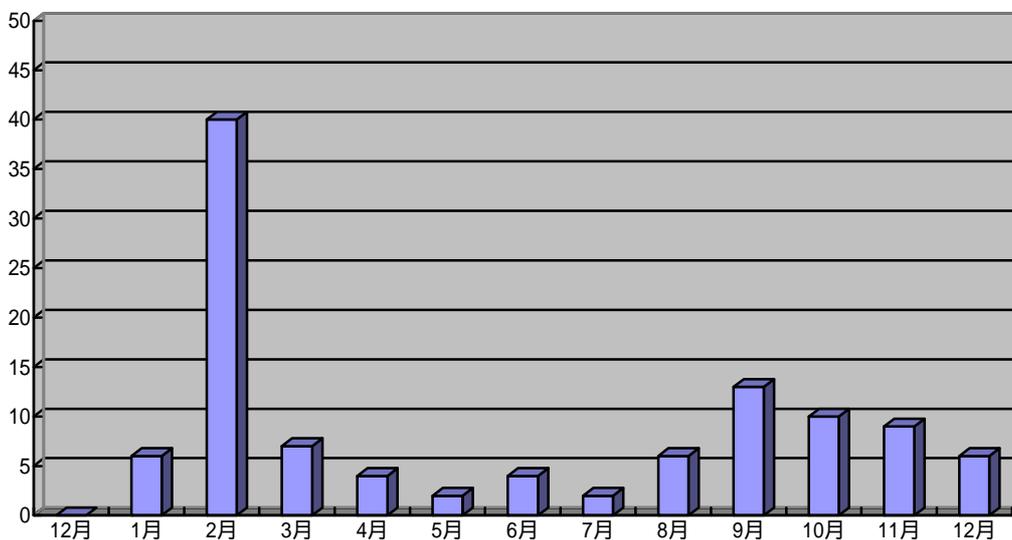
2006年12月度に報告されたフィッシング情報は7件で、3ヶ月連続で前月比減となりました。



フィッシング情報の届出件数(2005年12月～2006年12月)

・ **フィッシングメールの件数**： 6件

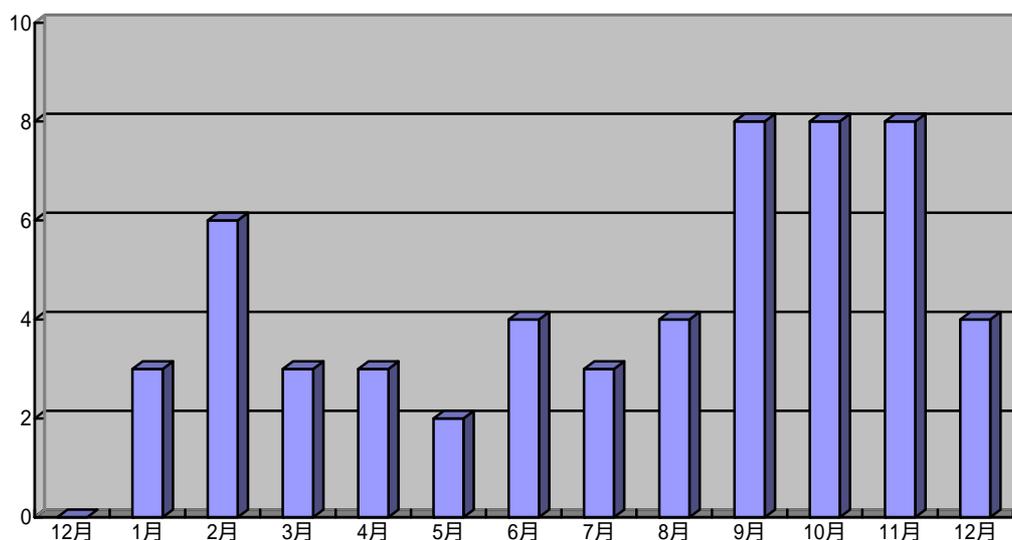
2006年12月度に報告されたフィッシングメールは6件で、3ヶ月連続で前月比減となりました。



フィッシングメールの件数(2005年12月～2006年12月)

・ **フィッシングサイトの件数**： 4件

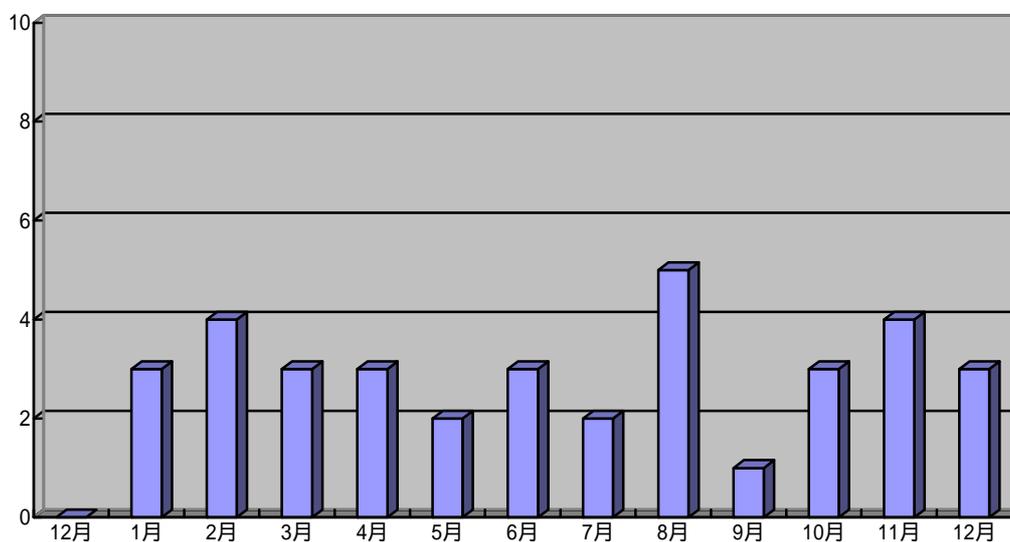
2006年12月度に報告されたフィッシングサイトの数は4件で、過去最多であった前月度よりも4件減少しました。



フィッシングサイトの件数(2005年12月～2006年12月)

- ・ **フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数**： 3件

2006年12月度にブランド名を悪用された企業の件数は3件で、「Yahoo! Japan」、「Fifth Third Bank」、「Amazon.com」が標的となりました。

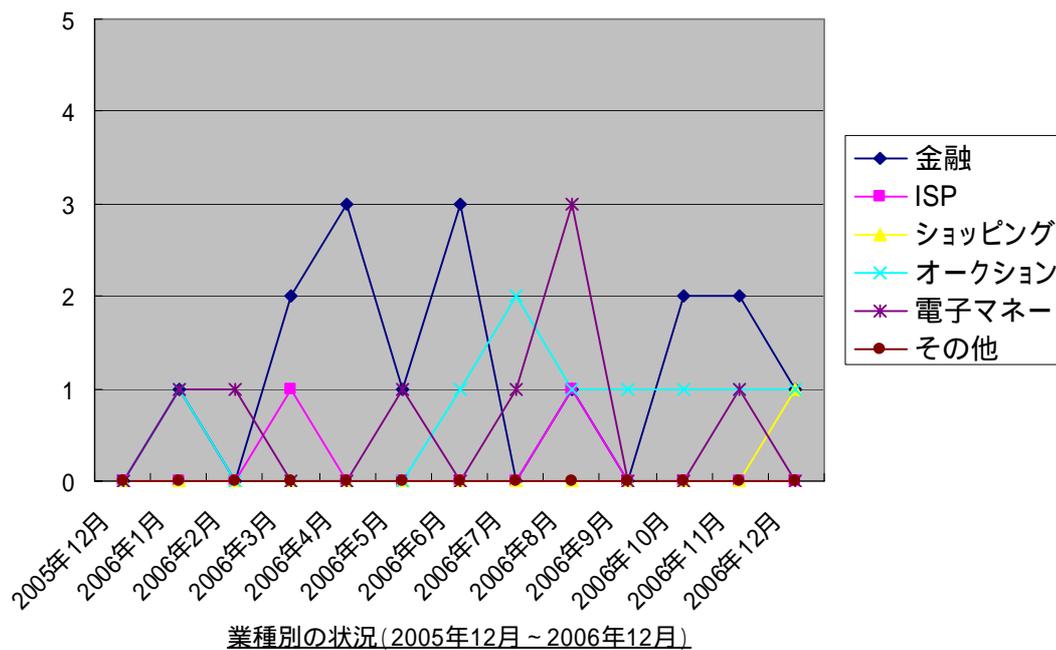


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2005年12月～2006年12月)

- ・ **もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国**： 日本(2件)

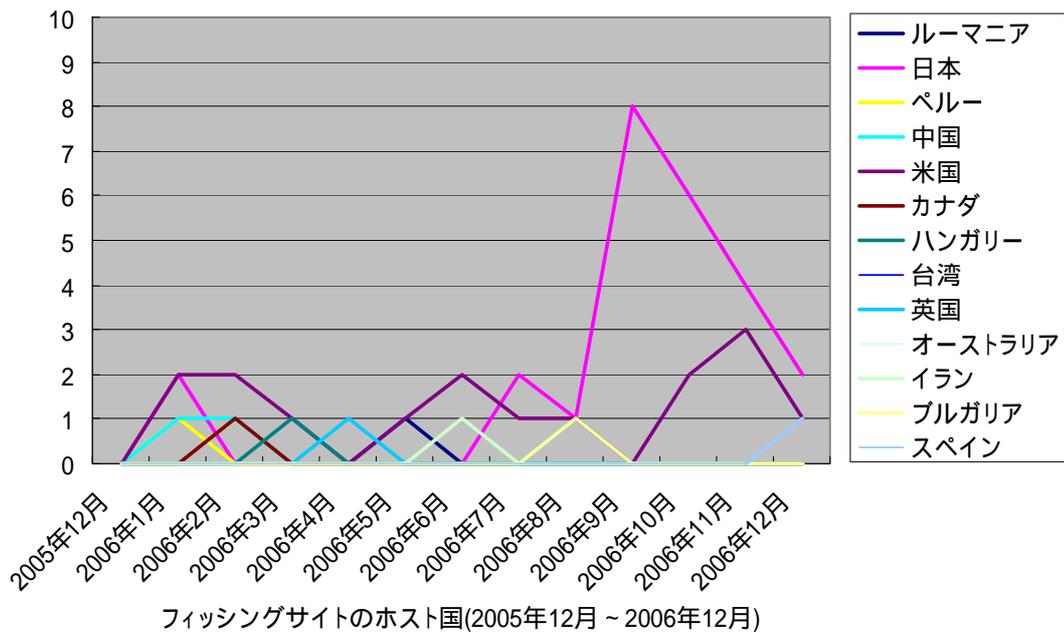
1.2. 業種別の状況

2006年12月度に標的となった業種は、金融1件、オークションサイト1件、ショッピングサイト1件でした。



1.3. フィッシングサイトのホスト国

2006年12月度に報告されたフィッシングサイトは、日本で2件、米国およびスペインでそれぞれ1件ホスティングされていました。



1.4. フィッシングメールの動向

12月度に報告されたフィッシングメールは計6件で、「Yahoo! Japan」をかたる日本語のメールが4件、「Fifth Third Bank」および「Amazon.com」をかたる英文メールがそれぞれ1件ずつ報告されました。「Yahoo! Japan」、「Fifth Third Bank」のフィッシングメールについては、これまでに報告のあったものと同じ形式で、誘導先のURLのみが異なるものでした。

今回新たに報告のあった「Amazon.com」をかたるメールは、「登録情報が古くなっていますのでリンク先にて情報の更新を行ってください。更新を行わない場合はアカウントが失効となります」として偽サイトに誘導しようとするものでした。メッセージはHTML形式で、言語セットはキリル言語と表示されます。

1.5. フィッシングサイトの動向

12 月度に報告されたフィッシングサイトは計 4 件で、「Yahoo! Japan」をかたる日本語のサイトが 2 件、「Fifth Third Bank」および「Amazon.com」をかたるサイトがそれぞれ 1 件ずつ報告されました。

「Fifth Third Bank」のサイトは報告時には既に閉鎖されており確認することはできませんでしたが、アメリカでホスティングされていた模様です。

「Amazon.com」をかたるサイトは、クレジットカード番号を盗み取る目的で作られており、スペインのサーバでホスティングされていました。トップページはディスカバーのサイトとなっているため、サーバがクラックされてフィッシングコンテンツを仕掛けられたものと思われる。

また、「Yahoo! Japan」をかたるサイトはこれまで報告されているものと同じく Yahoo! JAPAN ID、パスワードやクレジットカード番号を盗み取るもので、国内のレンタルサーバ上に設置されていました。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

今回、フィッシングに悪用される可能性のあるサイトに関する報告がありました。問題は国内の某ショッピングサイトに存在し、サイト内のページへのリンクの URL が間違っており(ドメイン名が 1 文字抜けていた)、実際には存在しないサイトにリンクされていました。仮に悪意のある何者かにそのドメインを取得されフィッシングサイトを設置された場合、リンクをクリックした利用者はそこが偽物のサイトとは疑わないため、非常に危険性の高いものとなる可能性がありました。現在は修正されており、正常なページにリンクされています。

1.8. 総括

12 月度は、クリスマス、年末商戦に合わせてフィッシング詐欺の増加が予想されましたが、当協議会に寄せられたフィッシング報告メールは、前月比 2 件減の 7 件でした。そのうちの 4 件は「Yahoo! Japan」に関するもので、件数は減ってきているものの、同様の報告が 7 月度から

続いており、引き続き注意が必要です。また、今回報告のあった Amazon.com は、英語のサイトながら国内でも多くの人々が利用しているため、通常の英語のフィッシングよりも危険度の高いものでした。

報道では、国内の某 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の招待メールに似せた偽メールが出回っているとの情報や、海外の SNS において動画再生を悪用したフィッシング攻撃が発生したとの情報があり、SNS ユーザを標的にしたフィッシングが増加している可能性があります。